

大野市重点道の駅「(仮称) 結の故郷」指定管理予定者となるべき
法人等の選定総評

平成29年4月27日

大野市重点道の駅「(仮称) 結の故郷」
指定管理予定者選定委員会
委員長 野嶋慎二

去る平成29年2月21日に締め切った大野市重点道の駅「(仮称) 結の故郷」指定管理予定者となるべき法人等の選定について、選定委員会にて審査を行い、下記のとおり決定しましたので、ここに公表します。

最優秀提案者

〔受付番号 A：中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社〕
【172.1点／200点】

次点者

〔受付番号 B：AAKグループ〕
【154.7点／200点】

1 審査経過

大野市では、市全体を道の駅として本市の魅力を発信し市内への回遊性と誘客を図り、大規模災害時の後方支援を行う防災機能を備えた「越前おおのまるごと道の駅ビジョン」の核となる施設である『大野市重点道の駅「(仮称) 結の故郷」』を平成32年度の供用を目指して事業を進めているところであります。

本事業を進めるにあたり、設計段階から指定管理予定者が持つノウハウ・経営能力等の活用を図り、地域振興に寄与し、整備コスト・維持管理コストを削減できる施設の設計、工事監理及び管理運営の準備を一体的に実施し、当施設を通じて市全体をプロデュースできる指定管理予定者を選定するため、公募型プロポーザルを実施することとしました。

1月12日に第1回委員会を開催し、応募資格、審査方法及び基準等を示す大野市重点道の駅「(仮称) 結の故郷」指定管理予定者募集要項を定め、1月23日に公募を公告した結果、2者から応募申請がありました。なお公告は、大野市掲示場、大野市ホームページ及び報道機関への情報提供により行いました。

2月28日に一次審査を実施し、事務所計画、同種・類似施設の管理実績、組織・体制、経営基盤を評価した結果、適格と判断し、応募申請のあった2者に対して3月8日に業務に係る提案書を要請しました。また、二次審査となるヒアリング方法等について議論し、プレゼンテーション・ヒアリングを公開形

式で実施することを決定しました。

4月6日に業務にかかる提案書の提出を締め切り、同月20日に以下の9項目について20分のプレゼンテーションを受けた後、20分程度のヒアリングを行いました。二次審査では大野市重点道の駅「(仮称)結の故郷」指定管理予定者募集要項に定める審査基準に基づき、各審査委員が評価し、最高得点者を最優秀提案者に選定しました。

なお、審査は一貫して応募者(事業者名)を匿名として行いました。

ポイント

- ・ 施設の維持管理方針
- ・ 市内への回遊性の向上策
- ・ 利用者サービスの向上策
- ・ 地域連携策
- ・ 業務を実施する組織・体制
- ・ コンプライアンス
- ・ 収支計画
- ・ 設計の方針
- ・ 総合評価

2 審査講評

業務にかかる提案をいただいた2者からは上記のポイントを踏まえた提案をいただきましたが、最優秀提案者の提案は、特に「内外それぞれからの複合的な視点で業務計画が立案されている」、「設計の方針において、利用者の動線や交通の流れなどに配慮した合理的な配置・空間計画がされている」といった点が高く評価されました。

そのほか委員からは「提案された内容については、完成されたものではなく供用開始までに大野市と共に作り込んでほしい」、「駅長の人選が道の駅としての成功に大きく関わるので、大野市としても十分に吟味してほしい」といった意見が述べられ、委員で審議した結果、最優秀提案者及び次点者を選定しました。

今後は、重点道の駅である当施設が大野市の魅力を発信し、積極的に市内への回遊性と誘客を図り、ふれあい交流人口の拡大につながる拠点として、大野市全体の地域振興に大きく寄与する施設が整備されますことを希望いたします。

3 選定委員名簿

| 審査委員会 | 所属・役職 | 氏名 |
|-------|-----------------------|-------|
| 委員長 | 福井大学 学術研究院工学系部門・教授 | 野嶋 慎二 |

| | | |
|------|-------------------------|-------|
| 副委員長 | 福井大学 学術研究院工学系部門・准教授 | 川本 義海 |
| 委員 | 郡上大和総合開発株式会社 代表取締役社長 | 水野 正文 |
| 委員 | 道の駅 もっくる新城 駅長 | 田原 直 |
| 委員 | 松田一彦税理士事務所 所長 | 松田 一彦 |
| 委員 | テラル越前農業協同組合 専務理事 | 池端 保 |
| 委員 | 大野商工会議所 専務理事 | 松田 勉 |
| 委員 | 大野市 副市長 | 今 洋佑 |